

---

## 第10回 日 野 町 議 会 定 例 会 会 議 録 （第4日）

令和4年12月14日（水曜日）

---

### 議事日程

令和4年12月14日 午前10時開議

- 日程第1 議案第64号 日野町職員の給与に関する条例の一部改正について（町長）
- 日程第2 議案第65号 日野町職員の定年引上げ等に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について（町長）
- 日程第3 議案第66号 令和4年度日野町一般会計補正予算（第8号）（町長）
- 日程第4 議案第67号 令和4年度日野町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）（町長）
- 日程第5 議案第68号 令和4年度日野町簡易水道特別会計補正予算（第3号）（町長）
- 日程第6 議案第69号 令和4年度日野町公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）（町長）
- 日程第7 議案第70号 令和4年度日野町農業集落排水事業特別会計補正予算（第3号）（町長）
- 日程第8 閉会中の継続調査の申し出

---

### 本日の会議に付した事件

- 日程第1 議案第64号 日野町職員の給与に関する条例の一部改正について（町長）
- 日程第2 議案第65号 日野町職員の定年引上げ等に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について（町長）
- 日程第3 議案第66号 令和4年度日野町一般会計補正予算（第8号）（町長）
- 日程第4 議案第67号 令和4年度日野町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）（町長）
- 日程第5 議案第68号 令和4年度日野町簡易水道特別会計補正予算（第3号）（町長）
- 日程第6 議案第69号 令和4年度日野町公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）（町長）
- 日程第7 議案第70号 令和4年度日野町農業集落排水事業特別会計補正予算（第3号）（町長）
- 日程第8 閉会中の継続調査の申し出

---

### 出席議員（10名）

1 番 中 山 法 貴

2 番 梅 林 敏 彦

3 番 金 川 守 仁

4 番 松 尾 信 孝



○議長（小谷 博徳君） 日程第１、議案第６４号、日野町職員の給与に関する条例の一部改正についてを議題といたします。

説明は初日に終わっていますので、これより質疑を行います。質疑ありませんか。

〔質疑なし〕

○議長（小谷 博徳君） 質疑がないようですので、質疑を終わります。

これより討論を行います。

〔討論なし〕

○議長（小谷 博徳君） 討論がないようですので、討論を終わります。

これより、日程第１、議案第６４号、日野町職員の給与に関する条例の一部改正についての採決を行います。

この採決は、起立によって行います。

お諮りいたします。本案は、原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（小谷 博徳君） 起立多数。よって、議案第６４号は、原案のとおり可決されました。

---

## 日程第２ 議案第６５号

○議長（小谷 博徳君） 日程第２、議案第６５号、日野町職員の定年引上げ等に伴う関係条例の整備に関する条例の制定についてを議題といたします。

説明は初日に終わっていますので、これより質疑を行います。質疑ありませんか。

〔質疑なし〕

○議長（小谷 博徳君） 質疑がないようですので、質疑を終わります。

これより討論を行います。

〔討論なし〕

○議長（小谷 博徳君） 討論がないようですので、討論を終わります。

これより、議案第６５号、日野町職員の定年引上げ等に伴う関係条例の整備に関する条例の制定についての採決を行います。

この採決は、起立によって行います。

お諮りいたします。本案は、原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（小谷 博徳君） 起立多数。よって、議案第６５号は、原案のとおり可決されました。

---

### 日程第3 議案第66号

○議長（小谷 博徳君） 日程第3、議案第66号、令和4年度日野町一般会計補正予算（第8号）を議題といたします。

説明は初日に終わっておりますので、これより質疑を行います。

最初に、歳入全般であります14ページから15ページまでの質疑を行います。質疑ありませんか。

〔質疑なし〕

○議長（小谷 博徳君） 質疑がないようですので、次に、歳出全般であります16ページから23ページまでの質疑を行います。

4番、松尾信孝議員。

○議員（4番 松尾 信孝君） 16ページ、総務費、総務管理費、一般管理費、その中の委託料50万円について質問をいたします。この目的については、初日、それから全員協議会で御説明いただきましたが、全員協議会で、この委託先の詳細について初めて説明がありました。それで、随意契約でありながら、委託先のところを、ほぼ随意契約と理解してよろしいと思うんですけど、委託先のところの説明が、非常に、おとといであったものですから、もしかしたら重複するところあるかもしれないんですけど、質問をさせていただきます。

御説明にありました、現在、この業務委託をしようとしているところには、一般社団法人日本管理者機構というところだと御説明いただきました。まず、この会社について、いつ設立されたのか、それから、今従業員の方は何人いらっしゃるのか、それから、自治体DX支援のこれまでの実績、ホームページ見ましたけど、そこらについての記述はございませんでした。さらに、本業務委託契約において、私の一般質問のときにも御説明ありましたが、現在、2月に日野町DX推進本部というものが立ち上がっておりますね。それにおいて、この契約を結ぶということについて、当然のことながら議論はされたと思うんですけど、どのような議論がされたのか、まず、これについて伺いいたします。

○議長（小谷 博徳君） 景山総務課長。

○総務課長（景山 政之君） 松尾議員の質問にお答えいたします。先ほど松尾議員が申されました業者でございますが、設立につきましては、承知している範囲では、今年度の設立ということをお伺いしております。事業所につきましては、現在、ちょっとはっきりとした数字は持ち合わせておりませんが、3名または4名ということで、非常に小規模な団体であります、非常に知

識を有しておるスタッフが集まっている事業所というふうに認識しております。

すみません、3番目は。

○議長（小谷 博徳君） 自治体の実績。

○総務課長（景山 政之君） 自治体との取引でございますが、今年度設立された業者ということで、実績的にはこれからというところではございますが、今までのスタッフの中の従業員の方、自治体との関係、非常に今まで多く持たれた方が従業員としてお勤めと聞いておりますので、実績的には今はありませんが、今後、幅広い自治体でのそういう支援をされていくのではないかとというふうに認識しております。（発言する者あり）DX本部につきましても、非常に議論の中で、デジタルに関して、職員のみの中での議論というのは、議論を進めていく中で、非常に知識がないところでの議論もなかなか進まないというところがあって、やはり、そういう日野町の情報システム、通信環境等というのをある程度支援していただける、そういった方に入っていてDXを推進していく必要があるというのを本部会議の中で議論いたしまして、このたびの上程と予算のほうを上げさせていただいておるということでございます。以上でございます。

○議長（小谷 博徳君） 4番、松尾議員。

○議員（4番 松尾 信孝君） 提案書には随契ということは書いてないですけど、一応、御説明が随意契約だということですので、その前提で質問を続けさせていただきたいと思うんですが、今の答弁にもありましたが、実際には、この法人は立ち上がって間もないと、僅か数名の方で小規模でやってらっしゃると。ただ一方で、担当されるであろう方は、本町についても割とよく知ってらっしゃるということでもあります。頂いた資料を見れば、平成27年ぐらいからやっていたいていると思いますけど、実態的には、これは法人との契約をとという形を取りながらも、ほとんど、このAさんという方に個人的に業務委託をしているというふうな実態として理解せざるを得ないですが、その上で、幾つも質問、3回しかできないもんですから、ここについての答弁もいただきたいんですけど。

随意契約ということだと思いますと、もちろん御承知だと思いますけど、本町には財務規則なるものがあります。その財務規則の第5章、契約というところ。ここでいろいろうたっております。随意契約にする場合に、その前に、やっぱり自治体の契約は、基本は入札だと、一般入札、指名入札、それから随意契約というふうに、この第5章も並んでるわけですね。随意契約っていうのは、非常に例外的な部分であると。だからこそ、いろいろ制限もかかっているわけなんですけど。例えば、契約履行の保障、第72条で契約履行の保障に関してうたっているわけですが、この設立間もない法人が、ほとんど個人の方が業務を委託してやってくださるということで、もし、この

方に何かあったときに、本当にそのところについてきちんと委託業務の履行を保障して下さるという担保はどこにあるのかということについてお考えを聞きたいと。

さらには、財務規則の第99条では、明確に、随意契約に当たっては2人以上から見積りを取ることとなると。この2人以上から見積りを取るという手続はされたのでしょうかという、これが質問ですね。

もう一つ質問しますが、1月から3月まで50万円ということでされますが、これ以外の支出はないですね。なぜかといいますと、第97条では、随意契約50万以上できないんですよね。50万を超えない範囲でしか随意契約はできないんですよね。だから、そのところについて、きちんとか、もうこれ以上の支出はないんだと。時間外とか交通費だとか宿泊料だとか電話代だとか、そういうものはないんだということなんでしょうか。そのところについてお伺いします。

○議長（小谷 博徳君） 景山総務課長。

○総務課長（景山 政之君） 松尾議員の御質問にお答えいたします。まず初めに、今回提案しております業者につきましては、議員さんおっしゃるとおり、Aさんという方が、非常に日野町との今までのいろいろな部分でお手伝いいただいて知識を得てるところで、支援、相談等を期待できるものと考えております。ただ、あくまでも業者と委託契約を結ぶことでございます。このAさんのみならず、スタッフ等、随時スタッフは今後拡充していくものと考えておりますが、町としましては、事業所と契約するわけでございますが、Aさん中心にはなるかもしれませんが、議員さん言われたところのフォローもしっかりしていただく、そういう内容の契約にはさせていただきたいというふうに思っております。

続きまして、履行ですね、その担保についても同じ、先ほど申しましたように、やはり契約では、業者との契約ですので、その辺りは、契約、もしした場合は、契約書のほうに企業として町を支援、相談するというような内容のものは盛り込みさせていただきたいというふうに思っております。

3番につきましては、見積りににつきましては、この内容に合致するという部分が現時点でありません。予算としては、1社の見積りをいただいて、それを予算として提案させていただいておるところでございます。

あと、これ以外の支出があるかという御質問ですが、これ以外の支出は発生する予定はございませんので、予算としても組み込んでおりませんので、御理解いただきたいというふうに思います。以上でございます。

○議長（小谷 博徳君） 4番、松尾議員。

○議員（4番 松尾 信孝君） 本来なら、随意契約、非常に特殊な契約形態である随意契約ということで、第99条では、ちゃんと2社以上の、2人以上から見積りを取ること、そういうことはうたってあるけど、今、はっきりと1社しか取らなかったというふうにおっしゃいました。これは、いろいろ弁解はあるかもしれませんが、確かに、時間的に非常に逼迫してた、1月はもうすぐそこです。この臨時会での補正予算しか予算手当てがないというような状況であるかもしれません。ただ、その上で、直接この予算とは、直接は関係ないけど、やっぱり将来的な非常に関係あるということで、あえてお伺いいたしますが、全員協議会での御説明も、この方が1月、3月にきちんと教えてくださるという実績を積まれたら、4月以降もあり得るかもしれないと、仮定の話ですけど、あり得るかもしれないというふうに説明がありました。

質問は、4月以降も、もちろん、この委託の背景からしますと、誰かがちゃんと教育なり助言なりアドバイスをしてくださる必要はあると私も思いますし、そういう支出については、本件についても、そこらについては私は何ら、むしろこれは積極的にやってくださいという立場であります。やはり手続が大事ですね、特に随意契約で。ですから、質問は、4月以降契約をあるときには、必ず、やはり本町の財務規則に基づいた契約の仕方をやられますかどうかということについての確認ですが、お答えいただきたい。

○議長（小谷 博徳君） 埴田町長。

○町長（埴田 淳一君） 4番議員さんからの質疑でございます。DX、デジタルトランスフォーメーションをですね、これ推進していく、どういうんですかね、分かっている部分もあるし、まだ未知の部分もある。その先達として、今、事業者さんとDX推進支援業務、そういった委託を結ばせていただきたい。そういった中で、いろいろ助言、アドバイスをいただいたら、さらに、また違った角度、もしくは継続的な町のDXを推進するための業務が発生するのではないかと、そのときに、町の財務規則であったり、地方自治法の施行令であったり、そういうのをちゃんと守ってやるんですよねっていうような確認だったと思いますので、それは、そのとおりでございます。

○議長（小谷 博徳君） ほかにありませんか。

7番、安達幸博議員。

○議員（7番 安達 幸博君） 引き続き、この案件について質問をいたします。本件は、どういう形態でされますかいったときに、随意契約というのが分かったわけですが、本来、この種の契約は、私はプロポーザルで募集するほうがより適切だと思っております。それは、こちらがこう

いうことをしてほしいということで広く募集をしたら、もっと日野町に適した人が募集をすると思っているからであります。しかしながら、本件は、この12月補正で上げたという、補正で上げるという緊急性はどのように捉えられているのかをお聞きしたいと思うんですが、確かにDX本部を、庁舎内のそれぞれの課長なり職員集めて本部を立ち上げていらっしゃるんで、それなりに動きをしたいというのは、アドバイスが必要だというのは感じます。しかし、これが来年4月からでは待てないという、その緊急性をどう捉えて12月の補正に出されたかをお聞きしたいわけです。ということは、つまり、私が言いましたプロポーザルのほうが適してるっていうことになれば、プロポーザルをして、約1か月ぐらいの募集期間をおって査定をすると、当然、4月からの執行になるわけです。これのほうが、よりいい人を日野町のために業務委託ができるんじゃないかなと思うんです。この3か月でない、本当に急ぐ理由ってというのはどこにあるんでしょうか。私はまずそこをお聞きしたいと思います。

○議長（小谷 博徳君） 景山総務課長。

○総務課長（景山 政之君） 安達議員の御質問にお答えいたします。緊急性でございますが、先ほどから申しておりますように、DX推進本部を立ち上げ、本部会議、または様々な部会を開催して議論を進めておるところでございますが、やはり知識等、職員の中では不足しているということがございます。その中で、やはりDX、これは町としても立ち向かっていかなければいけない、そういう大きなテーマでございます。4月の来年度からそういうのを考えようということでは、やはり遅れてくる、そういうDXの流れに遅れてくるという考えの下、少しでも早く、年度、今12月でございますが、町としては、少しでも早く支援、御相談いただける機会を設けさせていただいて、少しでも早く行政のDX、さらには地域へのDXを進めていくために、このたび、一歩でも早く前に進みたいという思いで、このたびの予算に上げさせていただいておるということでございます。以上でございます。

○議長（小谷 博徳君） 7番、安達幸博議員。

○議員（7番 安達 幸博君） 説得力、私の心は、それでは動きませんね。もっと、確かに遅れとるけん急ぎたいとか知恵を借りたいというのはありますよ。だけど、この3か月でそれをしないといけないっていう理由は、もっとほかに私はあつてしかるべきだと思うんです。というのは、当然、この12月ですから、もう来年度の予算組みとかいうのは始まっております。これからもどんどん、いろんなものに予算化しましょうとかいう話が当然。その中で、DXのこういったことをしないといけないという予算組みをつけるためには、今、知識が必要だと私は思うんです。そういうことを、しっかりと今、こういうDXをしたいけど、我々の知識がないし、予算組みの

ことも分からないので、そういうことを今の時期でないと聞けないんですとかいうことなら分かりますよ。もう一度、町長に聞きます。これはどのような緊急性があるんですか。

○議長（小谷 博徳君） 埴田町長。

○町長（埴田 淳一君） 7番議員さんからでございます、質疑でございます。今、担当総務課長が申しました。私が感じて日野町のDXの推進につきましては、非常に他町に比べても遅れてる、そういうふうな認識を持っております。いつぞや何かの機会に、1周半ぐらい遅れてしまったかなって。一生懸命、今立ち向かおうとしている、そういった中でDXの本部を立ち上げ、いろんな項目を進めていく。ただ、その進めるっていうのの中で、それは文字情報っていうか、いろんな情報からピックアップするんですけれども、なかなかそれが実際の知識、そして、実際に運用する上での課題発見にはなっていない。そういった中で、やはり、早く取りかからないといけない、もう時間は残されていないと思います。半年後にすればいいじゃないか、1年後にすればいいじゃないかっていう、そういう悠長な話ではなくって、もう世の中全体がそちらに向かっている。繰り返しますが、随分、日野町遅れております。そういった面で進めないといけないと思いました。

ちょっとこれは、返りますけれども、そういった面で、やはりいろんなプロポーザルとか、そういうようなことも恐らく考えてくれたんですけど、なかなかそういう知識云々がないんで、今ここで、この町でどういったことがこれを進める上での課題なのかっていうようなこと、そういったことの抽出も十分でない。そういった中で、事業者さん、いわゆる行政システム、行政事案に詳しい方が関わられる会社、そういったところがいいんじゃないか。当然、民間もございませけれども、民間とか、いろんなところ、そういったところをすって入れると、恐らく、これはいろんな面で言われますけど、金太郎あめみたいになってしまうんです。金太郎あめになって全国一律のっていうのじゃなくて、日野町のことをよく御存じの方、日野町のシステムとか、日野町の課題をよく御存じの方っていうことが、やはり大きな要因になろうかと思います。これはちょっと補足みたいで大変申し訳ございませんけど、そういうふうに考えております。

○議長（小谷 博徳君） 7番、安達幸博議員。

○議員（7番 安達 幸博君） 全く私の答弁の聞きたいところが出てませんよ。私は、こういう緊急性をしてするんだったら、当初予算でも、何かが、するようなことがあるんですかっていうことを聞いておるんです。町長、もう全般的に聞きたいとか、1周半遅れとるとか、それは理由になりませんよ、この補正でつけるっていう理由に。この補正でつける理由は何ですかっていうところは、もっと緊急性があるはずなんですよ。当初予算にこういうDXの予算をつけたいとか

ね、そういうものが全くなく、何となく、1周半遅れとうけん、早く追いつけ追い越せでしてるのでは、今でなくてもいいじゃないのって思いますよ。1周半が2周遅れたって、2周遅れのトップランナーいうことはあり得るんですから。もう一度、町長、じゃあ、当初予算にはDX関係の予算は何もないんですね、具体的にそこを聞きます。

○議長（小谷 博徳君） 埴田町長。

○町長（埴田 淳一君） 7番議員さんからの重ねての御質問でございます。当初予算って言われたんで、令和4年の当初のことかなと思ってしまったんですけども、令和5年の当初予算については、今、予算査定をさせていただいてる状況でございます。そういった中では、やはり、こういう状況で、いろんな知識とかいろんなシステムとか、いろんなことをアドバイスを積極的にいただかないといけないような状況。項目出してみたいなんはあるんですけど、まだ、その肉づけるなことができないんで、今現在の令和5年当初予算にこういうDXを進める、こういったハード、ソフト事業をっていうようなことは、まだ、どういうんですか、盛り込めておりません。以上です。

○議長（小谷 博徳君） ほかにありませんか。

1番、中山法貴議員。

○議員（1番 中山 法貴君） 同じく、総務費の一般管理費の委託料についてお聞きします。行政が行う契約は、入札で行うことが原則であります。今回、随意で行いたいということで、業者もAさんがいいと、Aさんがいいのではないかと、候補の、候補というか、もう契約相手も、もうほぼほぼ決められているようですが、この契約で、競争入札に適さないと判断した場合は随意で行えることができますが、この競争入札に適さないと判断した理由をお聞かせください。

○議長（小谷 博徳君） 音田副町長。

○副町長（音田 守君） 中山議員の御質問にお答えします。このDXの関係なんですけども、一般質問で議員さんが質問されました、自治体DXというもの。これについての質問と、今、お話しになっております、日野町がこのDXにつきまして遅れとるという表現を町長申し上げましたが、これは地域DXの関係だと思います。これ、令和2年なんですけども、政府がデジタル社会の実現に向けた改革の基本方針というものを出しまして、そこからスタートしました。いつまでにちゅう部分ですけど、25年までに標準化した行政のシステムをつくりましょうということで、ああ、そんなに忙しいんですね言いながら、内容についてはいろいろ明示されますけども、なかなか前へ進まないというような状況で進んできております。その中で、20年来日野町と付き合いがございました方が所属する会社に御相談をし、助言をいただきたいといひますのは、基本的

には、標準システムのこの実施は、住民基本台帳とか選挙人名簿管理とか生活保護とか児童手当とか、そういうものを取り扱う行政事務の部分の標準化、全国の本一化という部分の内容でございます。したがって、そういう全国の標準化に向けるのに、そういう知識をしっかりとっておられる方が所属される会社と随意契約をして、前へ進みたいということです。

具体的に、それをどのように持っていくかというのが、この1月、2月、3月の話でありまして、それで方向性が見えたら、具体的に予算化をしたものをお示しすると。それが一般競争入札に付するべきものという内容のものでしたら、そのように、財務規則にのっとって前へ進めていくという考えであります。今、先行させなければならないのは、自治体クラウド、自治体DXというもの、役場業務の全国の標準化にまずは着手するべきだという判断で進めております。以上でございます。

○議長（小谷 博徳君） 1番、中山法貴議員。

○議員（1番 中山 法貴君） 私が聞いておるのは、Aさんが適する理由ではありません。競争入札にこの件が適さないと判断した理由を聞いております。改めてお答えください。

○議長（小谷 博徳君） 音田副町長。

○副町長（音田 守君） 情報化について、我々も専門ではございません。そこで専門的知識を有しておるという方、この方が所属する会社でございますけど、そこと随契をして方向性を示していくという考え方から随契を選んでおります。以上です。

○議長（小谷 博徳君） 埴田町長。

○町長（埴田 淳一君） 契約の関係ですよね。地方自治法のほうにも書いてございます。恐らく本則のほうは、原則、原則っていうか、契約とかは指名競争入札を原則とする、ただし、別に定める場合はすることができるっていうふうになってると思います。じゃあ、別にすることができるのは、施行令であったり、私どもの町の財務規則、そこに、例えば工事契約とか物品の購入とか、金額で明示しております。これは役務の提供、50万円を超えないっていうのもありますし、あと、緊急の場合とかいろんな例があって、そういう場合は随意契約することができるっていうことでございますので、それを適用させていただいたっていうことでございます。

○議長（小谷 博徳君） 1番、中山法貴議員。

○議員（1番 中山 法貴君） では、競争入札に適さないと判断した理由は、契約は50万円以下である、そして、緊急であるためということでしょうか。では、この業者でないと不利益が出るという考えだと思うんですが、この業者でないとどのような不利益が出るからと考えて、この業者を選びましたか。

○議長（小谷 博徳君） 景山総務課長。

○総務課長（景山 政之君） 先ほど申しましたように、予定しております業者につきましては、日野町を、非常に、システムの面、あと地域性の面、様々な部分で日野町をよく御理解いただけてるというふうに考えております。改めて別の業者ということになれば、職員から、今の地域特性、現状のシステム、セキュリティー対策、様々なシステムの状況等々を、一からそういう業者にお話をして、まず、システムを理解していただいて、セキュリティーを理解していただいて、地域の通信網を理解していただいてというような流れが出てきます。非常に町としては、そういった部分で改めて新たな業者に対してのお話や説明等、過大な負担が出てくるという部分がございます。そういう部分で、本町をよく御理解いただけてる業者、そういった部分ですぐにスタートをしていきたいという部分で、今回、随意契約という形を考えておるといところでございます。以上です。

○議長（小谷 博徳君） ほかにありませんか。

6 番、松本利秋議員。

○議員（6 番 松本 利秋君） この予算でございますけれども、町長が言われましたように、当初予算に向けての職員の取組ということでございますけれども、私はこれでいいと思いますが、問題は、今回は行政職員の関係でございまして、町民、住民にどのようにやっていくかというのが大きな問題じゃないかと思っておりますけれども、おおよその、これをやってから言うことでは、ございまして、やるからには、将来どのようにやっていくか、職員がやり、あとは行政に、すみません、住民に向けての取組、ここら辺の大ざっぱな考え方はどのように考えておられるか、ちょっとお聞きしたいと思いますけれども。

○議長（小谷 博徳君） 景山総務課長。

○総務課長（景山 政之君） 松本議員の質問にお答えいたします。地域へ向けてのDXというのは、今、推進本部、各部会でも進めております。やはり、その中で実際に利用する上で検討、課題を抽出して、どのように広めていくかという部分がございます。予算で、この3か月の中でできるものから速やかに計上はしていきたいと思っておりますので、本部会議、部会の中に入っていて、地域へのデジタルも予算化して進めてまいりたいと思っております。（発言する者あり）では、いつからということではございますが、それは今、部会等でも議論しております。デジタル化として、町として進めれるといった部分から予算は上げていきますが、それが、それぞれのものがいつからというのは、現時点ではお示しませんが、できるものから議会のほうと御相談して予算化してまいりたいというふうに思います。以上です。

○議長（小谷 博徳君） 6 番、松本利秋議員。

○議員（6 番 松本 利秋君） 先般、いつの予算だったですかいね、スマホのやっていこうじゃないかというやな予算も出たわけです。やはり、そういうことをするだったら、その以前に研修会等もろもろをやった上での進めていくというようなやり方でなかったら、即、ほんならDXをやりますよ言うたって我々は当然分かりませんし、そういうような、とにかく研修と勉強をして、そんなら次はこういうことでやりますよと、行政は、いう進め方をやっていただかんといけんと思います。そこら辺についてはどうでしょうかね。

○議長（小谷 博徳君） 景山総務課長。

○総務課長（景山 政之君） そのデジタルに向けての事業化に向けては、全員協議会とかそういった議員さんとのお話を設ける場の中で丁寧に御説明して、御理解をいただけるようにしてまいりたいというふうに思います。

○議長（小谷 博徳君） 住民周知の進め方を今問うておるわけだから、それに答えにゃいけん。

この予算を通して、その上でどういうふうに、この予算通して住民周知をどげするかいう、今、行政デジタルいって言っとるけど、今の質問は、それを受けて住民周知はどげか言うてる。（発言する者あり）

○総務課長（景山 政之君） 住民周知につきましては、今回は、予定しておるのは支援、相談という部分ですので、形になっていったもの、こういうことを進めていきたいという部分については、決まった時点では、住民の方々に周知してまいりたいというふうに考えております。以上です。

○議長（小谷 博徳君） 住民向けのデジタルのことだな。

埴田町長。

○町長（埴田 淳一君） デジタル推進本部の担当部局のほうから、今、御答弁させていただいたんですけども、要は、本部のほうでデジタルディバイトの解消であったり、それから行政のデジタル化、さらに地域のデジタル化、いろんな骨っていうか、項目立てをして進めていく。ただ、その進める中で、今、議員さんおっしゃいました、どういうんですか、住民の方がDXであったり、IoTであったり、AIであったり、そういったものに興味を持っていただく。使ってみたいとか、触れてみたい。どういうふうにしたら、どういうんですか、より身近のものになっていくのか。そういうためにはどういうことをしたらいいかっていうのを、今、本部のほうでもいろいろ考えていくってような状況でございます。あと、地域のデジタル化につきましては、既存の技術であったり、例えばドローンの云々かんぬんとか、温度管理とか、いろんなこともござ

いますけれども、例えば、そういうことを通じて、あつ、DXを進めるとこういうような効果があるんだなっていうことを、住民の方に触れ合っていて、そこをまた起点にして地域のデジタル化を進めるようなこともできるのかなと思いますけれども、今、どういう進め方をするのが効果的なのかとか、一律的なのかとか、いろんな観点で本部で検討させていただいているっていう状況でございますので、御理解いただきたいと思います。

○議長（小谷 博徳君） ほかにありませんか。よろしいですか。

〔質疑なし〕

○議長（小谷 博徳君） じゃあ、質疑がないようですので、質疑を終わります。

これより討論を行います。

4番、松尾信孝議員。

○議員（4番 松尾 信孝君） この事案の、もう討論でよろしいですね。

○議長（小谷 博徳君） そうです。あつ、ごめんごめん。

○議員（4番 松尾 信孝君） よろしいですか。

○議長（小谷 博徳君） ちょっとごめんなさい。もう一つ抜けてました。

最後に、議決部分であります1ページから5ページまでの質疑を行います。

〔質疑なし〕

○議長（小谷 博徳君） 質疑がないようですので、質疑を終わります。

これより討論を行います。

4番、松尾信孝議員。反対討論ですか。

○議員（4番 松尾 信孝君） 反対討論でございます。

○議長（小谷 博徳君） じゃあ、松尾信孝議員。反対討論をお願いします。

○議員（4番 松尾 信孝君） 私は、この案につきまして、反対の立場から討論をさせていただきます。

いろいろ、先ほどの質疑で御答弁いただきましたが、結局は、この本町の業務が、業務委託する法人ではなくて、やはり、具体的なAさんという方のこれまでの実績というものを非常に強調されながら御説明がありました。ただ、こういう属人的な、だけど一方こちらは本当に、何ていいますか、指導を受けなきゃいけないという立場からしますと、もし、この方が何らかの理由で来れなくなったりとか業務の遂行ができなくなったときの体制について、やはりきちんとした履行の保障がないということについては、疑問を払拭できませんでした。それが第1点。

それから、説明の中でも、やはり4月以降、こういう業務っていうのはずっと継続していくも

のなんです、そのときに、今この方を選んだという理由で、やっぱり本町のいろいろシステムのことにについて一番よく知ってらっしゃるというのが、今回選んだ理由だというふうにおっしゃいましたけど、これは、実は、4月以降に委託先を選定する場合にも同じところが、言ってみれば、比較表をつくるときに恣意的にそこんところが入ってくる、最近にもそういう事例がありました。ということは、つまり、ごめんなさい、長くなってしまっ。よく知っているということでは、4月以降の選定においても同じことが起こるんじゃないかということがあります。それは第2点。

もっと言えば、1月からやらなきゃいけないという御説明あったんですけど、やはり、この時間を人質に取ったような議案の提案というのは、私はどうも快く思わない部分があります。もちろん、この補正予算に入っているほかのいろんな事案が気にはかかるわけなんです、緊急性があるものっていうのは、いずれも緊急性があるからこの12月補正で出されたと思うんですが、私はそういう意味で、目的はよろしいんです、このDXで我々自身がよく勉強していかなきゃいけない、指導を受けなきゃいけないという、よろしいんですけど、やはり、随意契約、ほぼほぼ個人の方が一生懸命頑張っ。てらっしゃるようなところに随意契約にしたという、そのプロセスのところについて、やはり、これは議員として、議会として、看過すべきことではないというようなふうな立場から、反対の討論をさせていただきます。

○議長（小谷 博徳君） 続いて、賛成の討論はありませんか。

5番、中原信男議員。

○議員（5番 中原 信男君） 5番。私は、この補正予算に対して賛成の討論で意見を申したいと思います。

今、DXが非常に議論になりまして意見が出ていましたけども、私は、町長の答弁の中にありました、他町村に比べ我が町は若干遅れてると。そういう中で、このDXに関わる職員の知識の向上、あるいは、含めたスキルアップと、庁舎内での推進、付け加えるならば、日野町住民に対するこのDXの生活の向上に向けての今後の努力というところ。ほかにも、この補正予算は、堆肥の推進事業なり、あるいは町営住宅の改修、非常に大切な予算がのつてると私は思います。

以上の観点で、この補正予算に対する賛成の討論とさせていただきます。以上です。

○議長（小谷 博徳君） ほかに反対の討論はありませんか。

〔反対討論なし〕

○議長（小谷 博徳君） 討論がないようですので、討論を終わります。

これより、日程第3、議案第66号、令和4年度日野町一般会計補正予算（第8号）の採決を

行います。

この採決は、起立によって行います。

お諮りいたします。本案は、原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（小谷 博徳君） 起立多数。よって、議案第66号は、原案のとおり可決されました。

---

#### 日程第4 議案第67号

○議長（小谷 博徳君） 日程第4、議案第67号、令和4年度日野町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）を議題といたします。

説明は初日に終わっていますので、これより質疑を行います。

質疑は、歳入歳出全般にわたって行います。質疑ありませんか。

〔質疑なし〕

○議長（小谷 博徳君） 質疑がないようですので、質疑を終わります。

これより討論を行います。

〔討論なし〕

○議長（小谷 博徳君） 討論がないようですので、討論を終わります。

これより、日程第4、議案第67号、令和4年度日野町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）の採決を行います。

この採決は、起立によって行います。

お諮りいたします。本案は、原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（小谷 博徳君） 起立多数。よって、議案第67号は、原案のとおり可決されました。

---

#### 日程第5 議案第68号

○議長（小谷 博徳君） 日程第5、議案第68号、令和4年度日野町簡易水道特別会計補正予算（第3号）を議題といたします。

説明は初日に終わっていますので、これより質疑を行います。

質疑は、歳入歳出全般にわたって行います。

〔質疑なし〕

○議長（小谷 博徳君） 質疑がないようですので、質疑を終わります。

これより討論を行います。

〔討論なし〕

○議長（小谷 博徳君） 討論がないようですので、討論を終わります。

これより、日程第5、議案第68号、令和4年度日野町簡易水道特別会計補正予算（第3号）の採決を行います。

この採決は、起立によって行います。

お諮りいたします。本案は、原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（小谷 博徳君） 起立多数。よって、議案第68号は、原案のとおり可決されました。

---

#### 日程第6 議案第69号

○議長（小谷 博徳君） 日程第6、議案第69号、令和4年度日野町公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）を議題といたします。

説明は初日に終わっていますので、これより質疑を行います。

歳入歳出全般にわたって質疑を行います。

〔質疑なし〕

○議長（小谷 博徳君） 質疑がないようですので、質疑を終わります。

これより討論を行います。

〔討論なし〕

○議長（小谷 博徳君） 討論がないようですので、討論を終わります。

これより、日程第6、議案第69号、令和4年度日野町公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）の採決を行います。

この採決は、起立によって行います。

お諮りをいたします。本案は、原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（小谷 博徳君） 起立多数。よって、議案第69号は、原案のとおり可決されました。

---

#### 日程第7 議案第70号

○議長（小谷 博徳君） 日程第7、議案第70号、令和4年度日野町農業集落排水事業特別会計補正予算（第3号）を議題といたします。

説明は初日に終わっていますので、これより質疑を行います。

質疑は、歳入歳出全般にわたって行います。質疑ありませんか。

〔質疑なし〕

○議長（小谷 博徳君） 質疑がないようですので、質疑を終わります。

これより討論を行います。

〔討論なし〕

○議長（小谷 博徳君） 討論がないようですので、討論を終わります。

これより、日程第7、議案第70号、令和4年度日野町農業集落排水事業特別会計補正予算（第3号）の採決を行います。

この採決は、起立によって行います。

お諮りいたします。本案は、原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（小谷 博徳君） 起立多数。よって、議案第70号は、原案のとおり可決されました。

---

#### 日程第8 閉会中の継続調査の申し出

○議長（小谷 博徳君） 日程第8、閉会中の継続調査の申し出を行います。

最初に、総務経済常任委員会。

4番、松尾信孝議員。

○総務経済常任委員会委員長（松尾 信孝君） 閉会中の継続調査の申出を行います。

本委員会は、調査中の事件であります地域の活性化及びまちづくりについて、閉会中も調査を継続する必要があると認めるので、会議規則第75条の規定により申し出ます。令和4年12月14日。総務経済常任委員会委員長、松尾信孝。

○議長（小谷 博徳君） 次に、教育民生常任委員会。

3番、金川守仁議員。

○教育民生常任委員会委員長（金川 守仁君） 閉会中の継続調査の申出を行います。

本委員会は、調査中の事件であります学校教育の充実について及び医療・福祉のまちづくりについて、閉会中の調査を継続する必要があると認めるので、会議規則第75条の規定により申し出します。令和4年12月14日。教育民生常任委員会委員長、金川守仁。

○議長（小谷 博徳君） 次に、議会広報常任委員会。

2番、梅林敏彦議員。

○議会広報常任委員会委員長（梅林 敏彦君） 閉会中の継続調査の申出を行います。

本委員会は、調査中の事件であります議会だよりの編集・発行、広聴について、閉会中も調査を継続する必要があると認めるので、会議規則第75条の規定により申し出ます。令和4年12月14日。議会広報常任委員会委員長、梅林敏彦。

○議長（小谷 博徳君） 次に、議会運営委員会。

9番、竹永明文議員。

○議会運営委員会委員長（竹永 明文君） 閉会中の継続調査の申出を行います。

本委員会は、次の議会の会期など、議会運営に関する事項及び議会の活性化について、閉会中も調査を継続する必要があると認めるので、会議規則第75条の規定により申し出ます。令和4年12月14日。議会運営委員会委員長、竹永明文。

○議長（小谷 博徳君） お諮りいたします。ただいま申出のありました事件について、それぞれ閉会中の継続調査とすることに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（小谷 博徳君） 異議なしと認めます。よって、申出のとおり、閉会中の継続調査とすることに決定をいたしました。

----- . ----- . -----

○議長（小谷 博徳君） 以上で本定例会に付議されました事件は全て議了いたしました。よって、会議規則第7条の規定により閉会いたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（小谷 博徳君） 異議なしと認めます。令和4年第10回日野町議会定例会を閉会いたします。御協力ありがとうございました。

午前11時02分閉会

-----